

④新規用途開発における地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

北海道産小麦を活用した新しいかりんとうの開発・製造及び販売

北海道産素材100%のかりんとうで高級菓子市場への参入を目指す。

連携体

農林漁業者

(有)大塚農場(農業)

一貫して土と減農薬にこだわり、かりんとうの原料小麦「ゆめちから」及び野菜類を生産。

中小企業者

浜塚製菓(株)(食料品製造業)

かりんとうの製造ノウハウを活かし、北海道産素材100%の新しいかりんとうを開発。

連携参加者

池田食品(株)(食料品製造業)

かりんとうの味付けとなる野菜・果実パウダーの乾燥・粉体化、加工技術及び販路開拓に協力。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

連携の経緯

浜塚製菓(株)は付加価値の低い量販店用かりんとうから、新たな高付加価値商品を開発するため、かりんとうの製造加工において技術協力のある池田食品(株)(豆菓子等製造)の大豆栽培の契約先である(有)大塚農場から北海道産小麦「ゆめちから」を買取り、100%北海道産素材による新しく、デザイン性の高いかりんとうを開発。

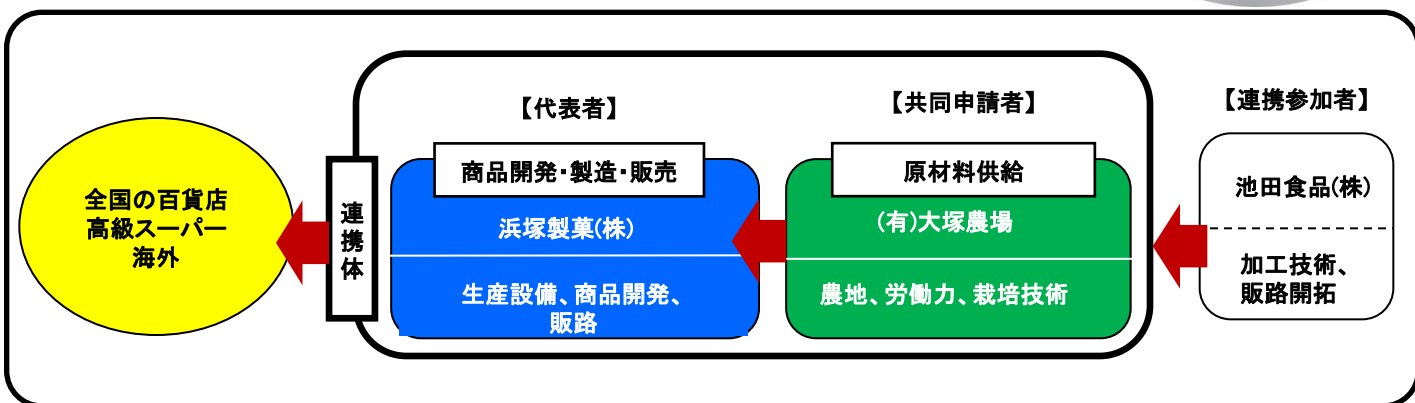
(大塚農場 小麦)



連携に当たっての課題や工夫等

浜塚製菓(株)は(有)大塚農場が輪作の一環で栽培する北海道産小麦「ゆめちから」を買取り、かりんとうのソフト化技術を活かした新しい商品開発及び高級菓子市場開拓のための商品企画を行う。連携参加者の池田食品(株)はかりんとうの味付け用の野菜、果実等パウダーの乾燥、粉体化のノウハウ及び販路開拓に協力する。(有)大塚農場にとっては、池田食品(株)が大豆栽培の契約先であることに加え、浜塚製菓(株)が小麦を買取ることにより、圃場維持のための輪作体系を考慮した、北海道型の持続可能農業経営の「連携モデル」実現を目指す。

(試作品)



連携による効果

農林漁業者

5年で約300万円の売上高増加、経営の安定化。

輪作体系を考慮した小麦の全量買取りにより、安定した農業経営を実現。

中小企業者

5年で約9,700万円の売上高増加、新規取り組みによる経営の向上。

高付加価値商品の開発、新規需要開拓により、売上増加を目指す。

代表企業等の連絡先

企業等名 : 浜塚製菓(株)

T E L : 011-383-4129

E - m a i l : ko-ikeda@mb.snowman.ne.jp

所在地 : 北海道札幌市白石区中央1条3丁目32番地

F A X : 011-384-6248

ホームページ : <http://www.hamatsukaseika.co.jp/index.htm>